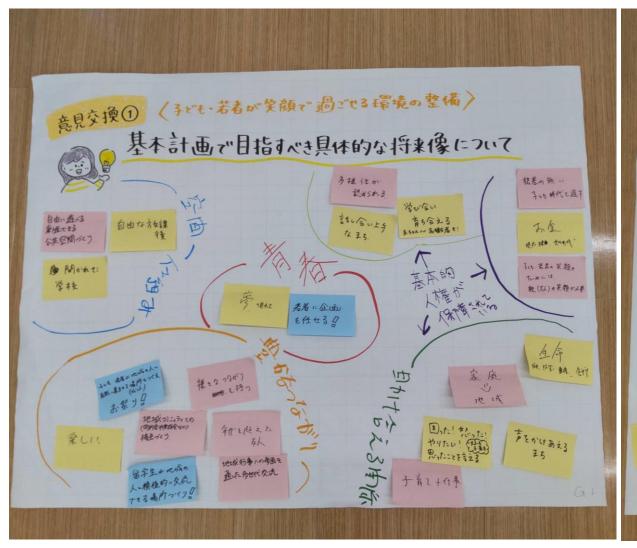
次期世田谷区基本計画策定に向けたワークショップ 開催結果(グループ1【会場】)

テーマ:「子ども・若者が笑顔で過ごせる環境の整備」





次期世田谷区基本計画策定に向けたワークショップ 開催結果(グループ1【会場】)

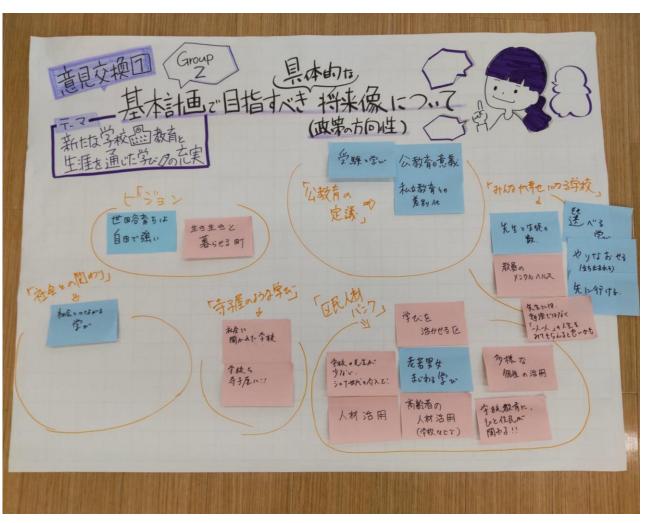
(グラフィックレコーディングによる記録)





次期世田谷区基本計画策定に向けたワークショップ 開催結果(グループ2【会場】)

テーマ:「新たな学校教育と生涯を通じた学びの充実」





次期世田谷区基本計画策定に向けたワークショップ 開催結果(グループ2【会場】) (グラフィックレコーディングによる記録)

★基本計画で目指すべき具体的な将来像について



🖈 将来像の実現のために必要な取組みについて 新たな学校教育と生涯を通いた学での恋実 7777 Project わりきュラム 自由にカスタマイズ PM FITE 12++3 次期世田谷区基本計画策定に 向けた区民ワークショップ 2023. 06.03 graphic by Mizukibs

次期世田谷区基本計画策定に向けたワークショップ 開催結果(グループ3【会場】)

テーマ:「多様な人が出会い、支え合い、活動できるコミュニティの醸成」





次期世田谷区基本計画策定に向けたワークショップ 開催結果(グループ3【会場】) (グラフィックレコーディングによる記録)

★基本計画で目指すべき具体的な将来像について



★ 将来像の実現のために必要な取組みについて ク"ループ3 意見交換② 99様な人が出会い、支え合い、 活動がきるコミュニティの西麓成 区很所之区民の共食 シビックプライド 希望のある ・町の声を聞く ここ、6 らイベントの実施 ・交流機会を増やす (ネットワークコミュニティ) く支援がり 同空線活用 公共交通の整備の E4BPH/ 次期世田谷区基本計画策定に 向けた区民ワークショップ

次期世田谷区基本計画策定に向けたワークショップ 開催結果(グループ4【会場】)

テーマ:「誰もが取り残されることなく生き生きと暮らせるための支援の強化」





次期世田谷区基本計画策定に向けたワークショップ 開催結果(グループ4【会場】) (グラフィックレコーディングによる記録)

2023.06.03 graphic by Mizuki &

基本計画で目指すべき具体的な将来像について 誰もが取り残されることなく生ま生まと暮らせるための 意見交換① 区民の心身本を健康にする門門 こぼけずばいる器 71-42 まなかすかな 使い場がある 安心之集活 居場所がある 南紅 **ノ自分。希望表明だけ** 島山 ン 教育、格差ない 誰もといませない 次期世田谷区基本計画策定に 向けた区民ワークショップ



次期世田谷区基本計画策定に向けたワークショップ 開催結果(グループ5【会場】)

テーマ:「脱炭素社会の構築と自然との共生」





次期世田谷区基本計画策定に向けたワークショップ 開催結果(グループ5【会場】) (グラフィックレコーディングによる記録)

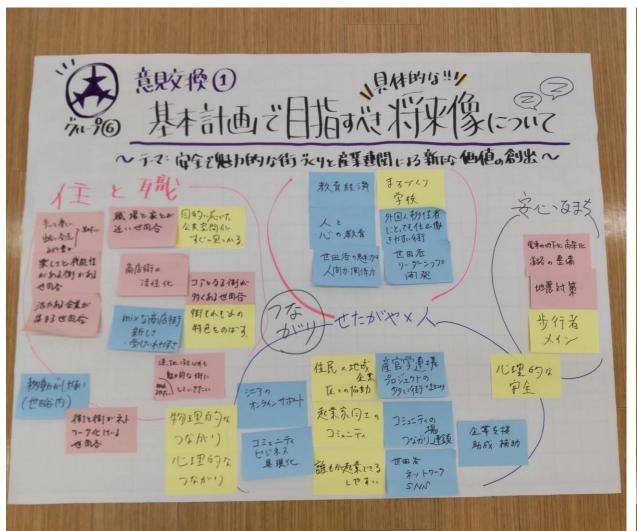
基本計画で目指すべき具体的な将来像について

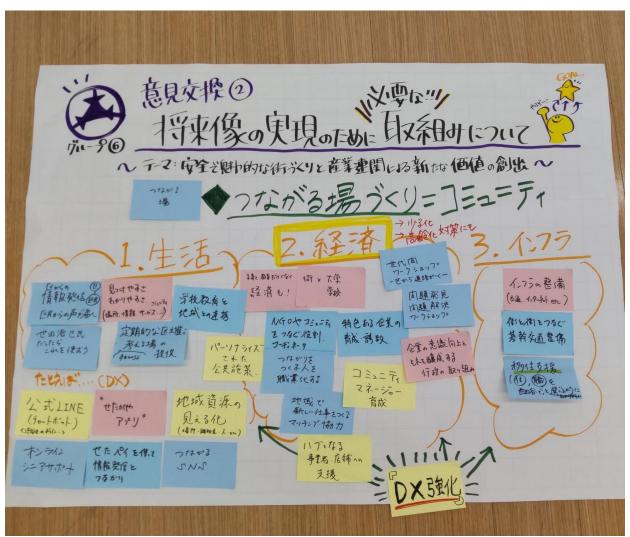




次期世田谷区基本計画策定に向けたワークショップ 開催結果(グループ6【会場】)

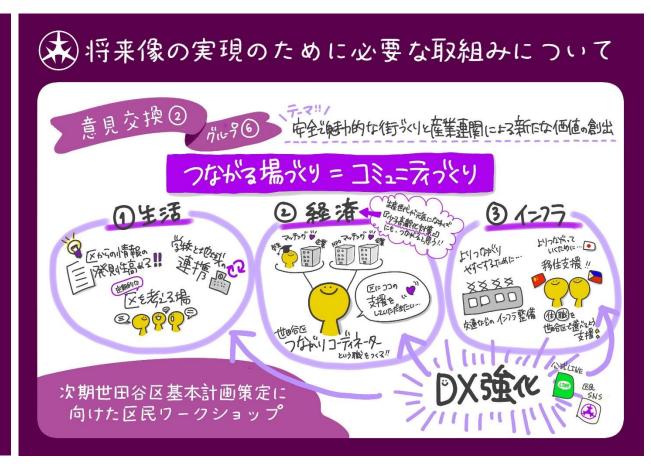
テーマ:「安全で魅力的な街づくりと産業連関による新たな価値の創出」





次期世田谷区基本計画策定に向けたワークショップ 開催結果(グループ6【会場】) (グラフィックレコーディングによる記録)

基本計画で目指すべき具体的な将来像について 意見交換① 中全海的你行为公公在举事冒(=+3新后你価值。創出 物理的つながり いで理的っながり ゆんじんい >> 世略×人學 金住 年 日 活力的企業代多日! 世俗。魅力。" 人間七. 起業家コミニティ智 関係力 次期世田谷区基本計画策定に 向けた区民ワークショップ



次期世田谷区基本計画策定に向けたワークショップ 開催結果(グループA【オンライン】)意見交換①

テーマ:「誰もが取り残されることなく生き生きと暮らせるための支援の強化」

④誰もが取り残されることなく生き生きと暮らせるための支援の強化 オンラインA

> 意見交換①基本計画で目指すべき具体的な将来像 (政策の方向性)について

誰もが、というのは難し い(無理かもだが目指す 必要がある)。

> 孤立し ていな W

困りごとを

出せる場が

ある

このキーワード、福祉 施策のスローガンにと どめず、区政のどんな テーマでも、「こぼれ る人がいないか?」と 常に考えるような、基 本理念の柱の1つなんだ と思います。

いので、国や自治体で ないとできないことが 多いテーマ

区政のどんな テーマでも、 「こぼれる人が いないか?」と 常に考える

> うのが誰を 指すのか

誰もがとい

取り残されるのは一番弱い人。そ ういう人がいるということを常に 振り返って考えること。区民同士 助け合うというマインドを醸成し ていく。弱者同士で助け合うのは つらい。強い人が積極的に振り返 って助けようとするのが大切。

多様性をど

うとらえる

か

外形的に「強者」に 見えても、内面でそ うでない人もいるの では?

緑や土や生物多様が残 された自然を感じるこ とができるバリアフ リーで子どもから高齢 者どんな方もふれあえ る公園の増加。



親子やどんな方 え参加できる区 民農園

一緒に農業をする体験で、コミュ ニケーションしながら、弱者とも ふれあい、忘れないようになるの ではないか

他者の困り ごとが見え

「孤独」で

社会とつな

がっている

実感がある

あれば弱者だと思う。

「あたりま え」のイン クルーシブ の実現

共生社会に対する理解の 促進。あたりまえ、をつ くりたい

人数が少ない人が取 り残されてしまう。 「みんなに対して同 じこと」ではなく、 個々のニーズに沿っ

多数決の原

理で誰かを

取り残さな

L1

て、スタートライン

を揃える!

「公正」であれば、 多様性が認められる 社会ができる!

誰もが、というのは難しい。行政は公平性・ 公正性を重んじるが、逆に苦手なのが多様 性。制度から落ちこぼれてしまった人をどう やって助けるか。行政にできるのだろうか。 「やる気、本気度」が問われる。

誰もが取り残さ れることがな い。=年齢、性 別・・・関係な く全ての人が対 象である。

> 生き生き暮らせ る=心の健康と 体の健康が保た れている状態

区政に興味がない若い人たち(関わ る機会が少ない)にも関心を持って もらうことが大事。すべての人が対 象というのはそういうこと。

> 誰もが、に「私」は 入っているのかな?

> > 「自分は忘れられて ない」という実感を 持てる社会

みんなが健康にいられる ことが大切。

次期世田谷区基本計画策定に向けたワークショップ 開催結果(グループA【オンライン】)意見交換②

テーマ:「誰もが取り残されることなく生き生きと暮らせるための支援の強化」

オンラインA ④誰もが取り残されることなく生き生きと暮らせるための支援の強化

休憩 15:05-15:20 15:20-の全体説明を経て 意見交換②「将来像の実現のために必要な取組みについて」

必要な時に必要なサービスが容易に迅速に手に入ることが重要。強 者弱者は一瞬にして入れ替わることもある。

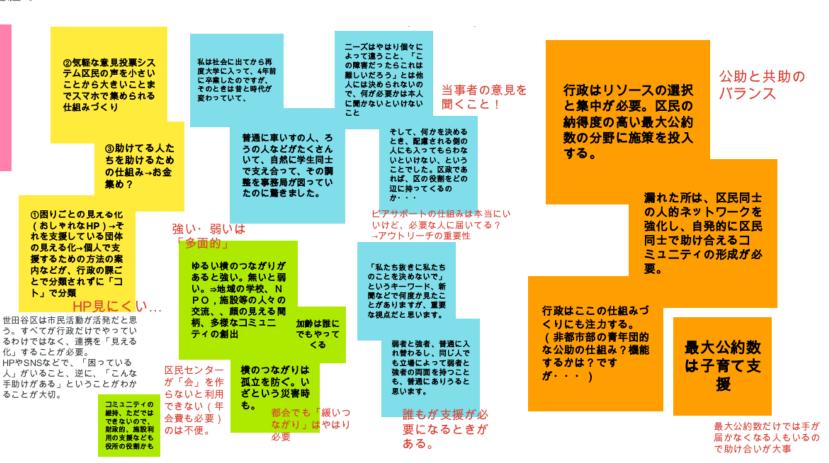
若い人は行政に関わる必要がなければ無理に関るのではなくただ、アクシデントはもとときに、必要なサービスが切ったい。 は、必要なサービスが切ったい。 は、必要なサービスが切ったい。 に、必要なサービスが切ったい。 に、時間がかかりすぎる。

「誰にでも」

スピード感と 品質の両立

→世田谷区に住んでて よかった、になる。

110や119のようにいざとなったら相談できる先がちゃんとわかる仕組み、周知が必要だと感じる



次期世田谷区基本計画策定に向けたワークショップ 開催結果(グループA【オンライン】)

(グラフィックレコーディングによる記録)





次期世田谷区基本計画策定に向けたワークショップ 開催結果(グループB【オンライン】)意見交換①

テーマ:「子ども・若者が笑顔で過ごせる環境の整備」

①子ども・若者が笑顔で過ごせる環境の整備 オンラインB

> 意見交換①基本計画で目指すべき具体的な将来像 (政策の方向性)について

区の基本方針:子ども・若者は、地域を一緒につくっていく主体として明確に位置づけ、参加しやすく、自分たち自身が社会の真ん中にいると実感できるよう子ども・ 若者の「今」に焦点をあてて政策、施策の組み立てを考えます。

③世田谷の緑の多さをいかす! ①子どものうちから気軽に思っていることを言える環境を!

北欧のお祭り・子ども選挙、小 他の地域でも地域に さい時から政策提言を 根差したお祭りを 小さいころから こども自身の声 政策的なこと 考えていること があげられる仕 (自分がまちに をなんでも言っ 組みがあるとよ 対して思ってい ていいと思える

環境

駒沢公園など子供が絹 あふれる環境で遊べる 施設の充実。桜新町に あるさくらまつり、ね ぶた祭りなど地域密着 のコミュニティ活動の 活性化

境はあるが、小さいこ ろから緑に近づける環 境を整備することは大

雨庭みたいなスポ ットが身近にもっ とあるよい。

④教育の環境の選択肢を多様に

放課後は「塾があたりまえ」 でなく、社会とつながる機会

の選択肢を多様に

中高生になった時に、放 課後に通うのが塾ではな くてボランティアに行く ような社会がいいなと私 立の中高に進学すること が当たり前のようになっ ているみたいですが、魅 力ある公立の学校をどの ように作ることができる

学童でも勉強ができたらよい。「遊 ばないとダメ」と絞ってしまうのは よくない

私立VS公立はよくない...

みんなに聞いて みたい。私立に 行くのが当たり 前?公立学校の 自由度が低いか 5?

中高一 貫もい いね。

公立の良さを発 信してくれる人 がいる。小さい 子供がある家庭 にも届くように なれば...

公立も地区に限定

せず選べるとよい

で、点数化しない独自 を打ち出してみて、通 う側が選べる仕組みを

保育園が充実し、子供 を預けることが当たり 前になっているし働く 選択肢は必要だと思う が、もっと小さい子供 とゆっくり過ごす時間 を確保できるような仕 組みもほしい

ること)を発言

②働く環境によらず子育てができる環境を!

できる社会

みんな同じ・一律でなくて もよい→学校教育がそうな っていくべき

次期世田谷区基本計画策定に向けたワークショップ 開催結果(グループB【オンライン】)意見交換②

テーマ:「子ども・若者が笑顔で過ごせる環境の整備」

①子ども・若者が笑顔で過ごせる環境の整備 オンラインB

意見交換②「将来像の実現のために必要な取組みについて」

①子どものうちから社会の問題に触れやすい環境を!

身近な社会 問題から考 えられると よい

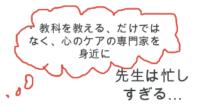
考えているこ と・思っている ことを「言って もいいんだよ」 とい環境づくり が大切

世田谷は商店街 が多い。子ども の目安箱を置い てみては?

スペースを 設けて意見 を言える環 境を

言葉を発するこ とはハードルが 高い...(虐待を 受けている場合 なども考えられ る)

子どもたちに身 近な大人が意見 を聞いてあげら れる社会インフ ラを。



③世田谷の緑の多さを活かす!

雨庭みたいなスポ ットが身近にもっ とあるよい。

緑地がマンションに変 わってしまっていた り、世田谷は緑が東京 の中では多いが、最近 は減っている...

公園だけではな く、駅のまわり や商店街・繁華 街にも緑が増え たらよい

特に駅や通学 路、春夏秋冬の 緑を愛でながら 生活できたらよ

緑が日常的にあ り、それらに触 れることができ る環境を

もちろん公 園も必要

私立も含め たら選択肢

公園も選択肢が多 いのが理想

④教育の環境の選択肢を多様に!

②働く環境によらず子育てができる環境を!

家族4人で、父が 働いていて母が 専業主婦がロー ルモデル(子供 が小さいうちは 特に)

女性はケアをし ながら働かなけ ればいけない...

で働く→中学受験の 壁・退職 女性のキャ リアを継続できるよう 小1の壁はクリアで きても中学受験が...

時短・産休育休取れる

よということで総合職

いろんな人に出会い、いろ んな選択肢があるというこ とを示せるように

勉強ができなくても、 プログラミング・芸術 とかで能力を活かせる かもしれない。そうい う子たちを応援してく れる社会がよい

い / 枠にはまらない子 はN校などに行っている 現状→彼らのような子 が公立校に行った場合 ものびのびと教育を受 けられるように

どこの学校に 行っても教育は 受けれらるけ ど、画一的では ないか

はあるけど

公教育での 選択肢の多 様化も大事

学区制になっているの は公教育に力を入れて いない証になってしま う...? 学業・スポーツ ...など放課後に塾の授業 をしてみては

専門家にも話を聞いてみたい

一人!?

共働きがも ゔっと増える

区長もその

次期世田谷区基本計画策定に向けたワークショップ 開催結果(グループB【オンライン】)

基本計画で目指すべき具体的な将来像について





選択肢はタタいけど...

子どの声だける環境

。 商店街の中に目安箱

意見交換②

- · 心のケアの専門家を身近に
- o 公園だけでなく身近に緑を







共働きを前提としたシステムの見直し!

子ども若者が笑顔で過ごせる環境の整備

公教育での選択肢の多様化を!

教育とキャリアの両立が

・公立でも特色のある授業を!

・枠にあてはまらない子

(cも居場所を.





次期世田谷区基本計画策定に向けた区民ワークショップ